

現道再生工法

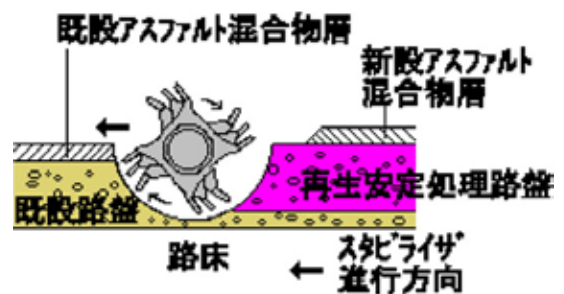
一般名称 路上路盤再生工法

道路上で、既設のアスファルト混合物と路盤を一度に破碎したものを原料にして、新しい路盤をつくります。



概要

- 既設アスファルト舗装のアスファルト混合物層と、粒状路盤の一部をその場で破碎し、セメントやアスファルト乳剤の添加剤と攪拌混合した後、整正・転圧して、再生路盤を構築する工法です。
- 本工法に用いる特殊スタビライザの最大混合深さは 40cm で、厚さ 10cm までのアスファルト混合物層を破碎することができます。



● 現道再生工法の概略図

特長

- 現道材料を使用するので、打換えによる廃棄材料の発生がなく工期を短縮できます。
- 既設アスファルト混合物、既設粒状路盤材を主骨材として再生路盤材を造るので、環境に優しく、経済的な工法です。

用途

- 軽交通路線